

広島大学に木は何本生えているのか？

木の定義

航空写真において濃い緑色の葉を生やすもので、木1本は葉が 10m^2 （約 $3 \times 3\text{m}$ ）ごとに数えるものとする。

使用したソフト、サイト

ペイントソフト、グーグルマップ、広大HP、カラー成分測定「色とりどり」

大雑把な方法手順

広島大学のキャンパスの航空写真を切り取り、色ごとの割合を出して広大の面積に占める木の面積を算出し、木の本数を求める。

測定方法

- ① グーグルマップより、広島大学の航空写真を切り取り、今回の調査範囲であるキャンパスを囲む道路の中央線よりも内側をペイントソフトでトリミングする。（図1）
- ② 切り取った航空写真で木の色や白色の部分は写真に含まれていなさそうな赤色で塗り、木を黄色で塗りつぶす。（白色は切り取った外側に白色があるのでキャンパス内の白をつぶしておかないと割合に影響するため。）（図2）
- ③ サイト「色とりどり」で色の割合を算出する。白：約24%、木（黄色）：約17%
- ④ この時、キャンパスは約76%なのでキャンパスを占める木の割合は、 $(17 \times 100 / 76)$ より約22,4%となる。ここで、広大HPより広大キャンパスの面積は約 2477000m^2 なので木の占める面積は約 554848m^2 となる。
- ⑤ よって、木が1本あたり 10m^2 占めるとするので、木の本数は約**55484本**となる。

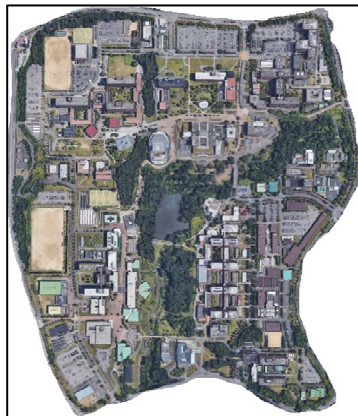


図1



図2